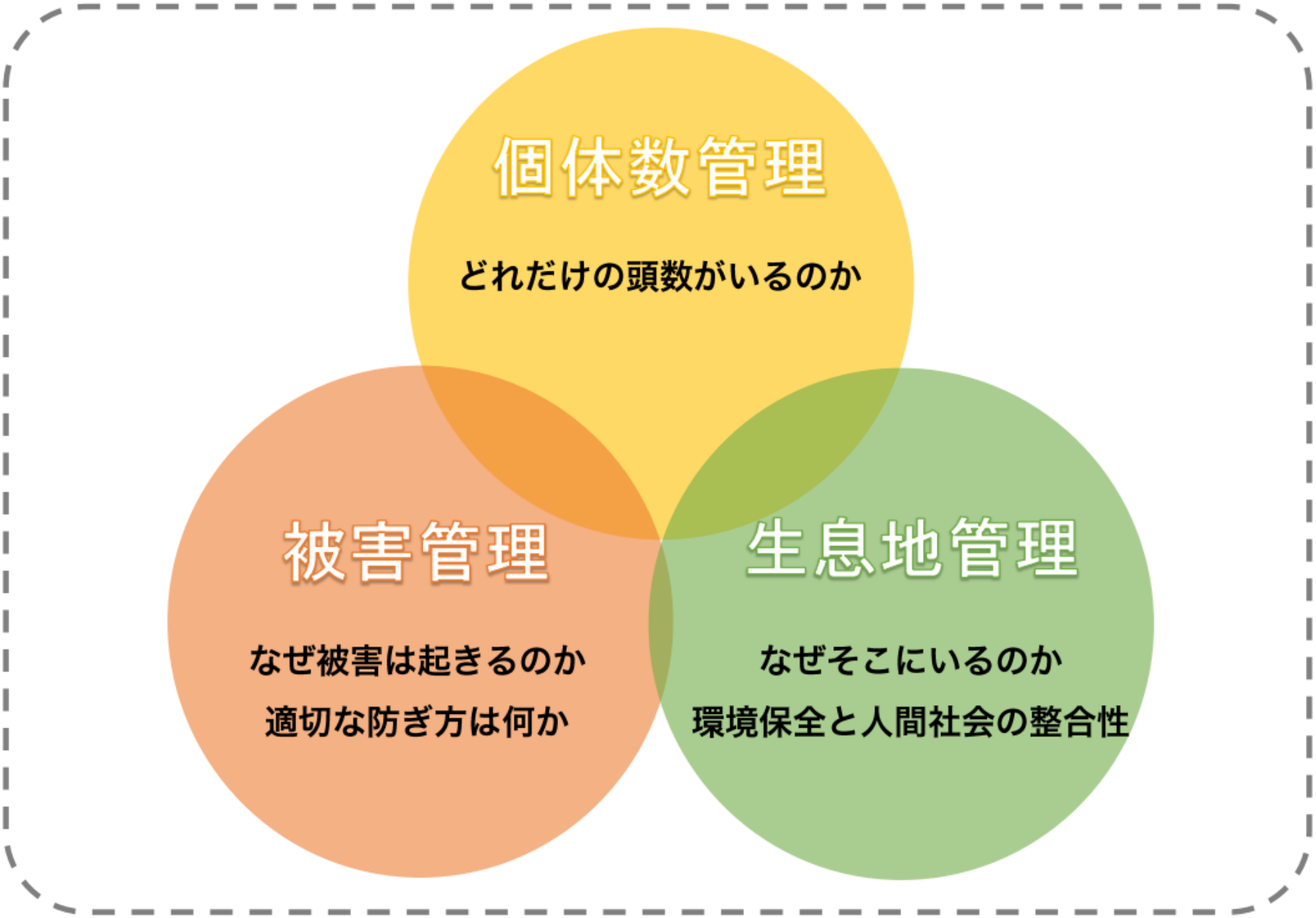
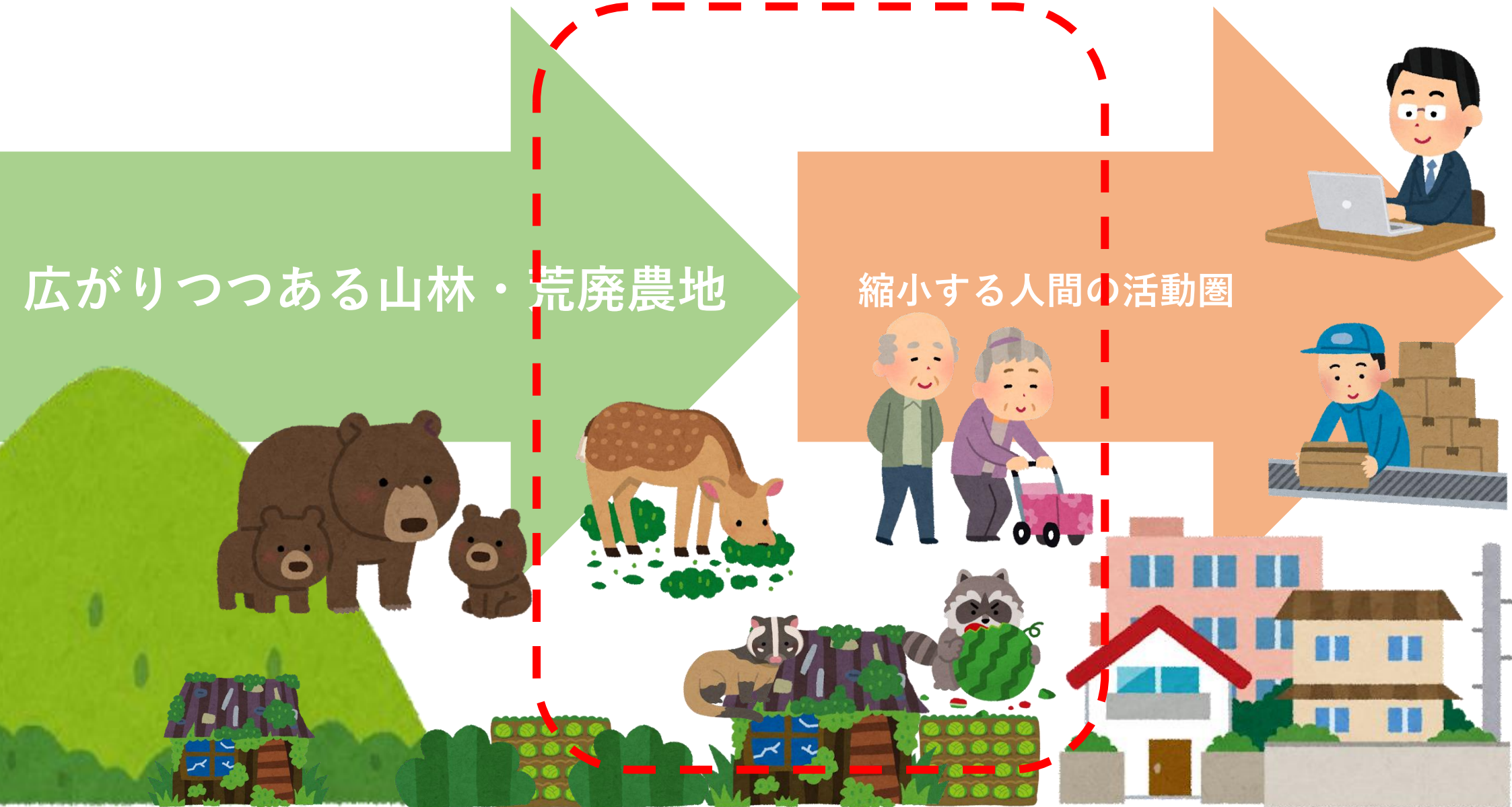
# イノシシ対策とは

持続的・順応的管理



# 生息地管理

**ここをどうするかについて、地域の考え方が重要！**



# 被害管理

対策効果を上げるには、まずは環境整備から！

**要チェック！野生動物が集落に居つく原因になる食資源**

春：お墓のお供え物や花、集落周辺の桑の実
夏：かじられて畑に置きっぱなしの野菜、果物くず、生ごみ
秋：取りきれない／不在地主の放置された柿、ユズ、栗
冬：白菜の外側、野菜くずの畑への放置

## 短期的・即効性の被害抑制は「防除」

**※わなをかけてもすぐ捕まるとは限らない**

**※「被害を防ぐ」目的であれば、広がらないように！**

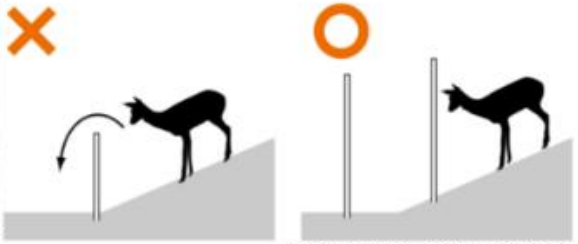
## 長期的・遅効性の被害抑制は「捕獲」

**※捕獲は必要不可欠だが、体制や戦略が必要**

**※「防除」で経路を押さえた上での「捕獲活動」は効果的！**

**「守り（防除）」を固めた上で「攻め（捕獲）」る！**

## シカ柵のポイント




（参考画像：農林水産省）

- シカは柵にあたれば柵沿いに歩いて侵入場所を探す
- 高さを意識しがちだが、潜り込む動作も多い
- 下部分に鼻先や頭を入れる隙間なく、固定は必須
- 高さを出す場合は傾斜による高さ相殺に注意
- ひづめの間に何かが挟まるのが不快
  →ネットをかける場合は、外側にせり出すように

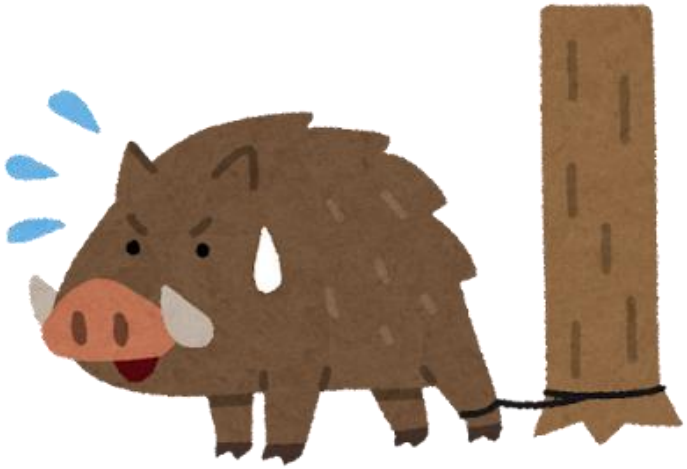
## イノシシ柵のポイント

（参考画像：農林水産省）

- イノシシは電気柵が比較的有効（組み合わせも）
- 電気柵設置時には、イノシシに鼻で触れさせる工夫が必要（一度経験させその後の侵入を防げる）
  →ガイシを導電性の素材にし、外向きにする
- 向こう側が見えないと警戒して侵入しづらい
- 柵の下部の穴や水路を利用した侵入に要注意

（監修）合同会社甲斐けもの社中 2021.12.01更新

# 個体数管理（わな）



くくりわな

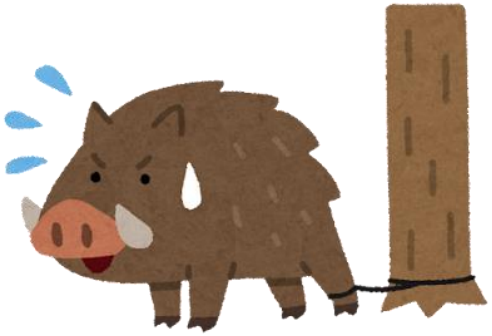
箱わな

※この他にも広い面積での囲いわながある

**山の１０頭より、里の１頭**

※被害を出すイノシシの行動圏は１平方キロ程度、定着、増加を防ごう！

# 個体数管理（わな）



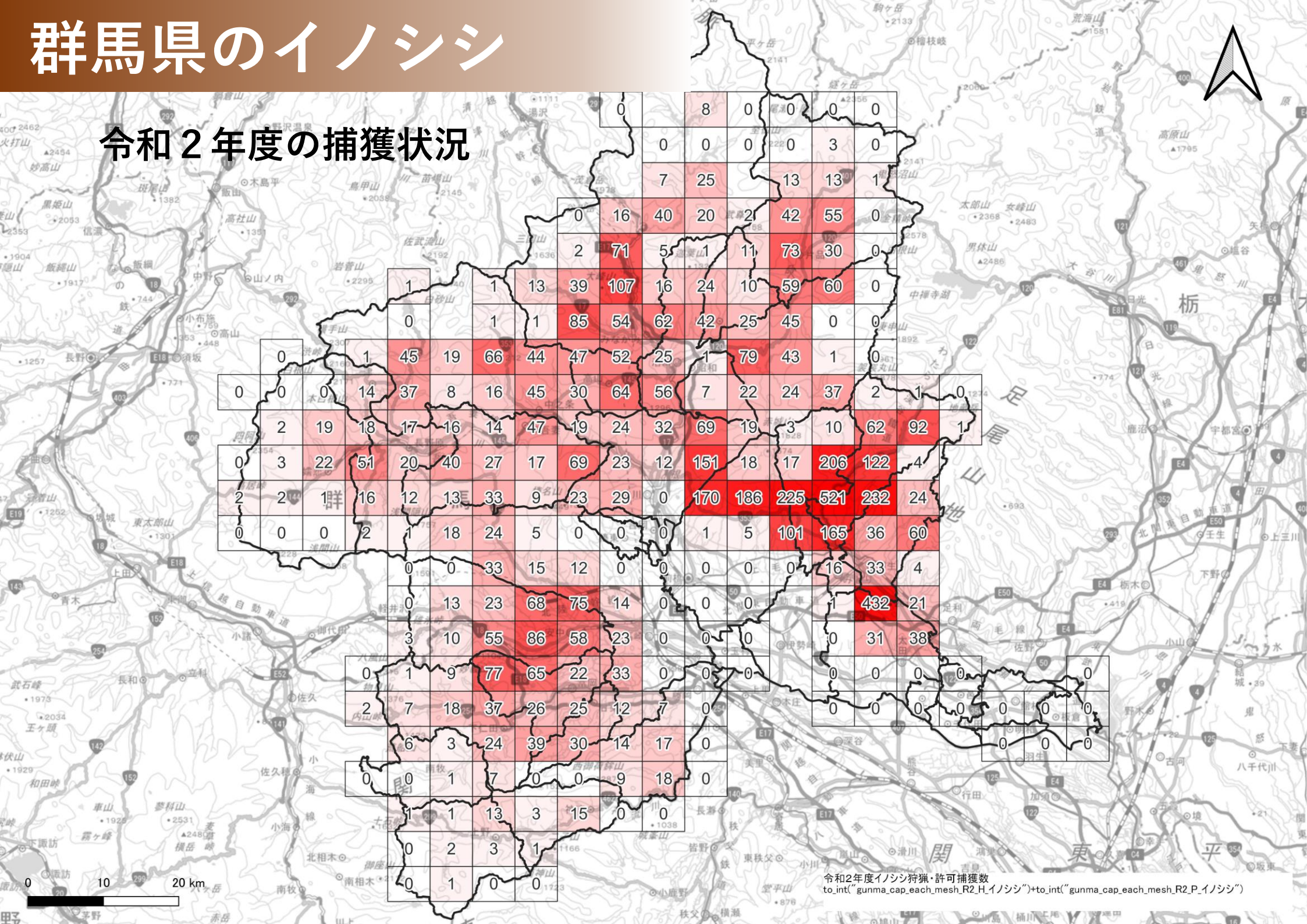
| | | |
|---|---|---|
| けもの道を見つけて<br>能動的に捕獲できる | タイプ | 停滞している場所で<br>受動的に捕獲できる |
| やや難<br>訓練が必要 | 設置の難易度 | 簡単<br>場所が決まれば管理のみ |
| ワイヤーを固定する木が必要 | 設置場所の制限 | 傾斜地でない平坦な場所 |
| 安全なとめ刺しには経験必要 | リスク | 比較的リスク少なく捕獲できる |

**くくりわなは「主体的」、箱わなは「受け身」の捕獲**

**時間のかかり方が全く違う**

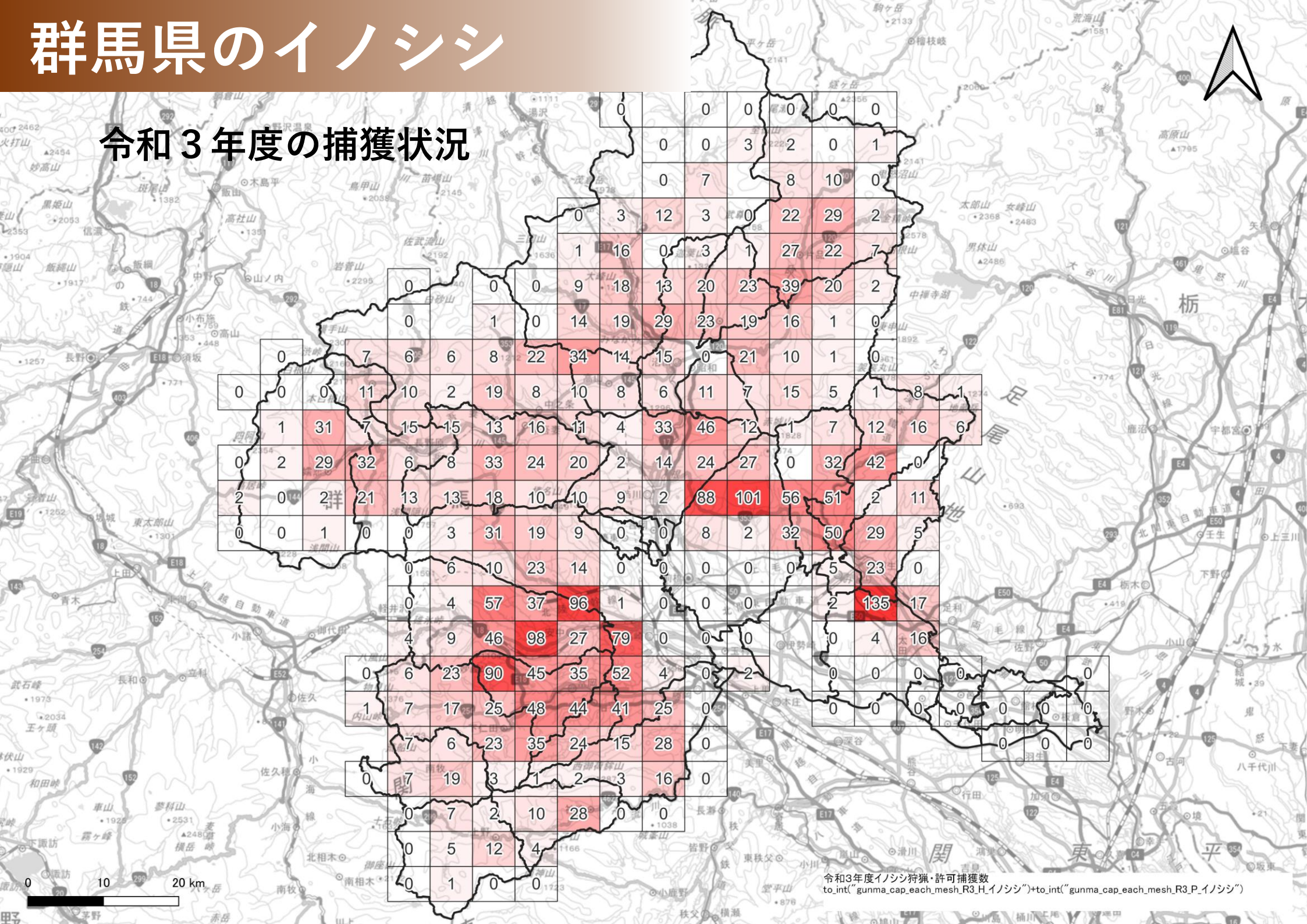
# 群馬県のイノシシ

## 令和２年度の捕獲状況



# 群馬県のイノシシ

## 令和３年度の捕獲状況

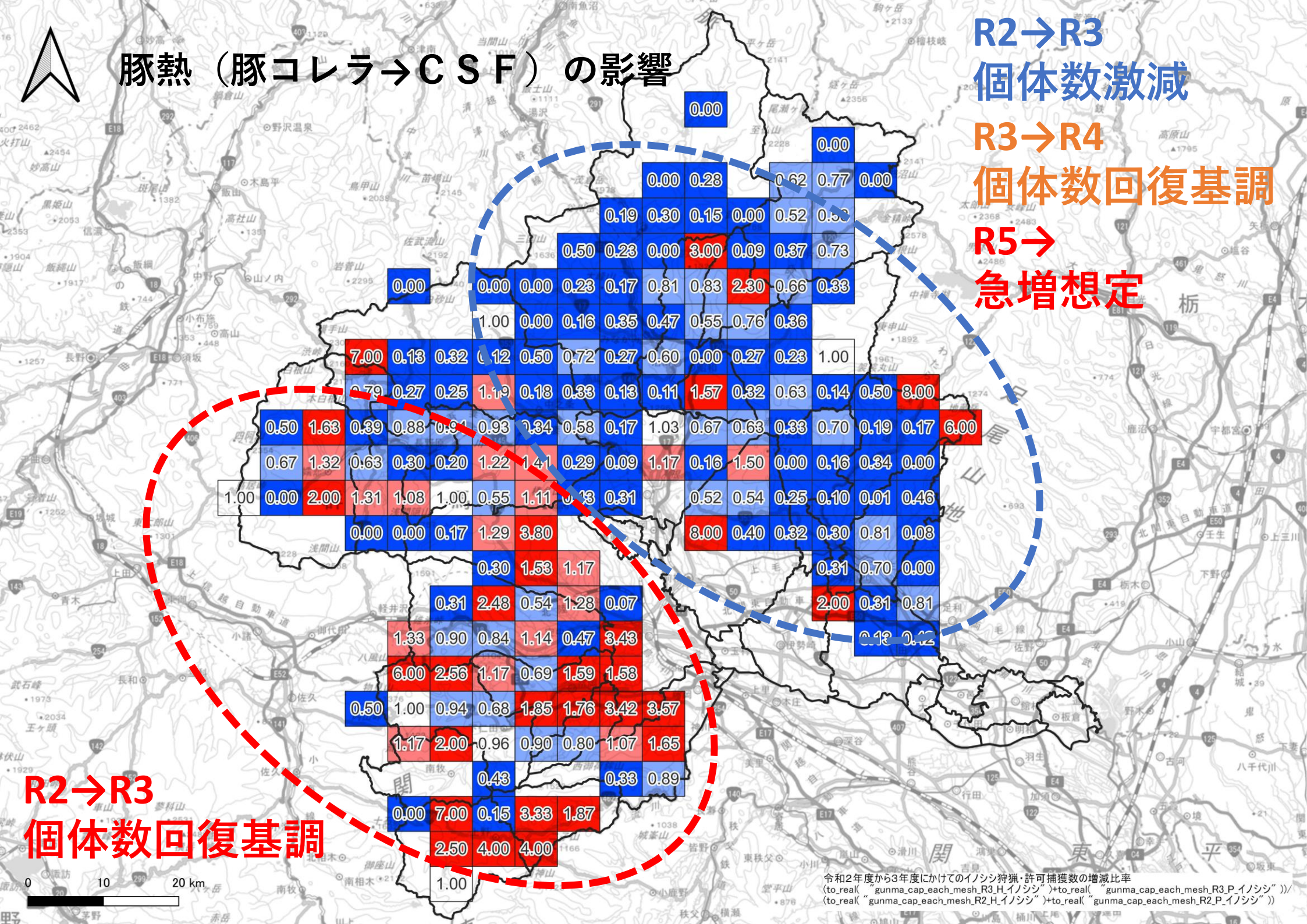


# 豚熱（豚コレラ→ＣＳＦ）の影響

R2→R3
個体数激減

R3→R4
個体数回復基調

R5→
急増想定




R2→R3
個体数回復基調

令和2年度から3年度にかけてのイノシシ狩猟・許可捕獲数の増減比率
(to_real( "gunma_cap_each_mesh_R3_H_イノシシ" )+to_real( "gunma_cap_each_mesh_R3_P_イノシシ" ))/
(to_real( "gunma_cap_each_mesh_R2_H_イノシシ" )+to_real( "gunma_cap_each_mesh_R2_P_イノシシ" ))

# 今後に向けて

・わな捕獲場所の位置座標

・わな捕獲時期

・エサの入れ替えタイミング（年月日）

**記録を整備すること　＝　捕獲効率を上げること**

（もちろん負担にならない程度の項目数で・・・）

| 行政（県） | 行政（市） | 狩猟者 |
| --- | --- | --- |
| 捕獲情報の分析<br>情報提供 | 記録<br>捕獲適地の共有 | 現場実務<br>データ採取 |

# 必要な対応

**なぜ獲るか（目的）**

被害対策
（加害個体の除去）

**どこで獲るか（場所）**

林縁部や被害地までの間
→林縁部から連続する耕作放棄地
痕跡調査で痕跡の濃淡を確認

**どうやって獲るか（方法）**

くくりわな　や　箱わな
→林縁部付近ではくくりわな
農地付近では箱わなを選択
エサの種類や採食状況を注視する

# 必要な対応

| | |
|---|---|
| なぜ獲るか<br>（目的） | 個体数調整<br>（増加抑制） |
| どこで獲るか<br>（場所） | 林縁部から山側 |
| どうやって獲るか<br>（方法） | 囲いわな<br>くくりわな<br>銃など |

# 必要な対応

**なぜ獲るか（目的）**

個体数調整
（増加抑制）

**どこで獲るか（場所）**

林縁部から山側
→林縁部沿いの痕跡調査で収束確認
傾斜量が少ない場所でカメラ設置

**どうやって獲るか（方法）**

囲いわな　くくりわな　銃猟
→林内で囲いわなで誘因、慣らし捕獲
囲いわなができない場合はくくり
猟期外は箱わな、猟期は銃の併用